

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	応急物資備蓄・保守事業	所管	総合政策部 危機管理課
			TEL 2998-9399

事業の目的 (何の為に 行うか)	大規模災害に備えて、一定規模の応急物資等を常時確保することにより、災害応急体制の充実を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	避難住民への備蓄食料	対象とした数	94,440	食分
		実際に 利用した数	0	食分

活動の内容	(何を したか)	各指定避難場所(67箇所)に順次設置している防災備蓄庫等に、食料、毛布、簡易トイレ等を分散して備蓄していく。なお、備蓄食料については、保存期間が限られているため、廃棄せずに有効的に使用できるよう、防災訓練や防災フェア等に提供する。また、浄水機や投光機等については災害時に直ちに活用できるよう、専門的な点検を毎年1回行う。							
活動実績	項目名	備蓄食料	94650	項目名	単年度購入食料	23000	項目名		単位
			単位 食			単位 食			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	7,125	6,811	12,422	36.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	備蓄食料	備蓄食料	100000	94440	94.4
			単位 食	単位 食	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	010400	TEL	2998-9399
事業コード	総合政策部 危機管理課					
010403	応急物資備蓄・保守事業					
開始年度		平成 7 年度	—	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託＋附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	所沢市地域防災計画			災害対策基本法					
	関連・類似事業									
	総計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	2節 防災	中柱	2 災害応急対策の充実	小柱	(2)被災者支援の取り組み	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 19 位			・実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20
事業開始の背景	平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機に、大規模災害に備え、各指定避難場所に一定規模の食料、毛布、簡易トイレ等の備蓄を開始した。また、国の「防災基本計画」においても、備蓄調達体制を整備し、供給計画を図る。									

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	大規模災害に備えて、一定規模の応急物資等を常時確保することにより、災害応急体制の充実を図る。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	避難住民への備蓄食料			利用数の考え方 災害時における備蓄食料の使用料					
	対象数	単位	平成 18 年度	85,182	食分	利用数	単位	平成 18 年度	0	食分
			平成 19 年度	94,440	食分			平成 19 年度	0	食分
	事業の具体的な内容及び実施方法 各指定避難場所(67箇所)に順次設置している防災備蓄庫等に、食料、毛布、簡易トイレ等を分散して備蓄していく。なお、備蓄食料については、保存期間が限られているため、廃棄せずに有効的に使用できるよう、防災訓練や防災フェア等に提供する。また、浄水機や投光機については災害時に直ちに活用できるよう、専門的な点検を毎年1回行う。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 ▶								
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点 備蓄食料については、食物アレルギーを持つ市民への配慮として、白粥のアルファ米の備蓄を行っている。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		7,177	7,125	6,763
	決算(見込み含む)		7,019	6,811	
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費	0.50 人	4,600	0.45 人	4,227
	公債費		1,410	1,384	
	事業費合計		13,029	12,422	
	財源内訳	一般財源	13,029	12,422	6,763
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			38.6	36.6	
利用数一単位あたり(単位:円)					

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	備蓄食料	備蓄食料	食	85182	94650		100000
		単年度購入食料	単年度購入食料	食	23000	23000		
	成果分析	備蓄食料	備蓄食料	食	目標値	100000	100000	
				%	実績	85182	94440	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
					達成率	85.2	94.4	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	備蓄食料(アルファ米・クラッカー)については賞味期限があるため、賞味期限が切れる前に総合防災訓練、自主防災訓練等において使用しているが、アレルギー対策や女性等に配慮した備蓄品の見直しを進めていく必要がある。	受益者負担の有無	見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	今期目標項目(何を)	①市機材(浄水機・投光機)の保守点検。 ②備蓄品の購入	達成水準(どこまで)	①災害時に直ちに活用できるようにする。 ②避難者の一日分の食料確保
時期(いつまで)	平成20年度における目標設定		平成21年度	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	大地震などに備えて、応急物資等を常時確保しておくことは、必要不可欠な事業であり、今後においても、市民ニーズに対応した備蓄品等を備蓄していくとともに、市民に対しても食料等の備蓄を奨励していく必要がある。			
評価日	平成20年5月14日	記入者職氏名	危機管理課長 髙岐 英昭	

⑧二次評価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	評価理由	
	評価日	
次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い
優先度評価	見込まれる貢献度	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
評価理由	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
評価日	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	評価理由	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	評価日	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	181
	施策の体系	1-8災害の対策	施策の方向	1-8-1防災施設の充実
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ…有り	計画コード	3271
	基本目標	3子供達安心して健やかに暮らすための環境をつくります。		
	主要課題	2子育てに快適な環境づくり。		
施策の方向	7安心して暮らせる環境の整備。			